

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 26 年 3 月 20 日 (2014.3.20)

【公開番号】特開 2013-238996 (P2013-238996A)
 【公開日】平成 25 年 11 月 28 日 (2013.11.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2013-064
 【出願番号】特願 2012-111154 (P2012-111154)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/16 (2012.01)

G 0 5 B 23/02 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 2 2 C

G 0 5 B 23/02 V

G 0 5 B 23/02 3 0 1 T

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 2 月 4 日 (2014.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

監視ポイントに対応して設けられ、上記監視ポイントに関連する管理データと、上記監視ポイントの監視及び制御に係わる機能とが格納された監視ポイントフォルダーが記憶された記憶装置、

及び上記監視ポイントをシンボルで表示したグラフィック画面上で上記シンボルが操作されることにより、当該シンボルに対応する上記監視ポイントフォルダーを上記記憶装置から読み出し、表示する手段を備えたことを特徴とする監視制御システム。

【請求項 2】

上記監視ポイントフォルダーに格納された上記監視ポイントの監視及び制御に係わる機能には、上記監視ポイントの監視及び制御に係わる機能を追加及び削除するための手段が含まれることを特徴とする請求項 1 記載の監視制御システム。

【請求項 3】

上記監視ポイントフォルダーに格納された上記監視ポイントの監視及び制御に係わる機能には、サマリ表示による監視の対象としない監視ポイントを上記サマリ表示から除外する手段が含まれることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載の監視制御システム。

【請求項 4】

上記監視ポイントフォルダーに格納された上記監視ポイントの監視及び制御に係わる機能には、上記監視ポイントの状態変化時間を計測するストップウォッチアプリケーション手段が含まれることを特徴とする請求項 1 ~ 請求項 3 のいずれか一項記載の監視制御システム。

【請求項 5】

上記グラフィック画面上の任意の範囲を選択する手段、

上記選択された範囲内の上記監視ポイントを一覧表示する手段、

及び上記一覧表示された上記監視ポイントの一つが選択操作されることにより、当該監視ポイントに対応する上記監視ポイントフォルダーを上記記憶装置から読み出し、表示する手段を備えたことを特徴とする請求項 1 ~ 請求項 4 のいずれか一項記載の監視制御システム。

テム。

【請求項 6】

上記グラフィック画面上の任意の範囲を選択する手段、

上記選択された範囲内の上記監視ポイントを一覧表示するとともに、上記監視ポイント
を監視及び制御するために操作される監視ボタン及び制御ボタンを表示する手段、

及び上記監視ボタン及び制御ボタンのいずれかが操作されることにより、上記一覧表示
された監視ポイントに対し、一括監視または制御を行う手段を備えたことを特徴とする請
求項 1～請求項 4 のいずれか一項記載の監視制御システム。

【請求項 7】

上記監視ポイントに関連する管理データを作成し、ファイル名に当該監視ポイントに対
応するコードを埋め込む手段、

及び上記作成された管理データを上記コードに対応する監視ポイントフォルダーに自動
的に登録する手段を備えたことを特徴とする請求項 1～請求項 6 のいずれか一項記載の監
視制御システム。